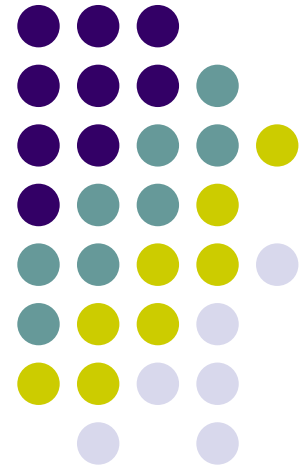


平成31年3月期第2四半期累計
決算説明資料

大村紙業株式会社

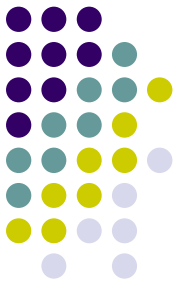
東京証券取引所
JASDAQ(スタンダード):3953





目次

- 会社概要 ……3
- 事業の状況 ……4
- 業績概要 ……5
- 品種別売上高及び生産実績 ……7
- 今後の見通し ……8
- 売上高および経常利益の見通し ……9
- 品種別売上高の見通し ……10
- 免責事項 ……11



会社概要

- 社 名 : 大村紙業株式会社
- 本 社 所 在 地 : 神奈川県茅ヶ崎市甘沼163-1
- 代 表 者 : 大村日出雄
- 設 立 : 1965年(昭和40年)3月17日
- 資 本 金 : 554,000千円
- 発行済株式総数 : 4,884千株
- 事 業 内 容 : 段ボール(シート・ケース・他)の製造販売
ラベル製品の製造販売
副資材商品の販売
デザイン・ディスプレイ関係の請負
- 事業部および営業所
: 湘南・東北・大阪・栃木・静岡・三重・茨城・
仙台・京都・レーベル栃木・埼玉・千葉・レーベル埼玉・
会津・レーベル湘南・レーベル三重
- 研 究 所 : 包装設計デザイン研究所



事業の状況

- 当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復や堅調な雇用環境を背景に緩やかな回復基調になっております。しかしながら、国内においては、自然災害の影響や海外においては、通商問題等により景気の先行きに不透明感も予想されます。
- 生産量につきましては、段ボールシート29百万㎡(前年同四半期比9.6%減)、段ボールケース19百万㎡(前年同四半期比2.0%減)となりました。
- 当第2四半期累計期間の業績は、売上高2,559百万円(前年同四半期比2.2%増)となりました。利益面におきましては、経常利益119百万円(前年同四半期比42.6%減)、四半期純利益75百万円(前年同四半期比44.2%減)となりました。
- コーポレート・ガバナンスの取り組みについては、直近の有価証券報告書に記載しておりますのでご覧下さい。また、コーポレート・ガバナンス報告書は東京証券取引所ホームページから検索しご覧いただくことができます。

平成31年3月期第2四半期累計 業績概要①



売上高2,559百万円(前年同四半期比2.2%増)となりました。利益面におきましては、経常利益119百万円(前年同四半期比42.6%減)、四半期純利益75百万円(前年同四半期比44.2%減)となりました。

(単位:百万円)

	当第2四半期累計期間 (平成30年4月～9月)	前第2四半期累計期間 (平成29年4月～9月)	前年同四半期比
売上高	2,559	2,504	2.2%
営業利益	117	206	-43.2%
経常利益	119	208	-42.6%
四半期純利益	75	134	-44.2%



業績概要②

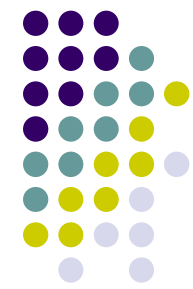
当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ72百万円減少し、7,429百万円となりました。これは主に、投資有価証券が増加し、現金及び預金が減少したことによるものであります。負債は、前事業年度末に比べ97百万円減少し、2,234百万円となりました。その結果、純資産は5,195百万円となりました。

(単位:千円)

資産の部	当期末 (平成30年9月末)	前期末 (平成30年3月末)
流動資産	4,754,560	4,967,494
現金及び預金	3,183,908	3,371,285
受取手形	504,817	493,631
売掛金	708,678	702,358
たな卸資産	346,377	355,535
その他流動資産	10,779	13,661
固定資産	2,675,299	2,566,062
有形固定資産	2,297,773	2,288,292
無形固定資産	11,410	12,577
投資その他の資産	366,115	265,192
資産合計	7,429,860	7,502,535

(単位:千円)

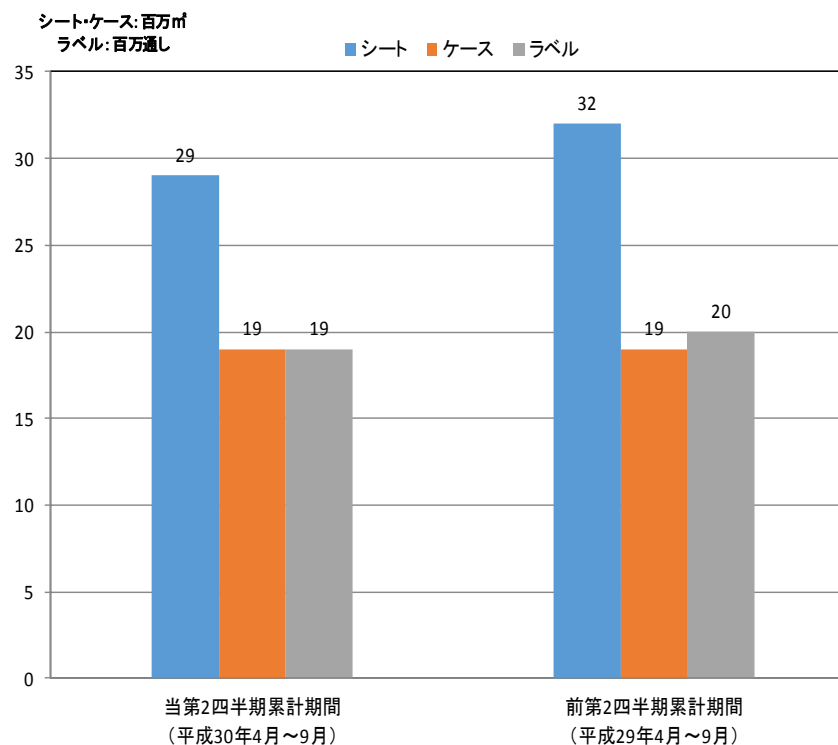
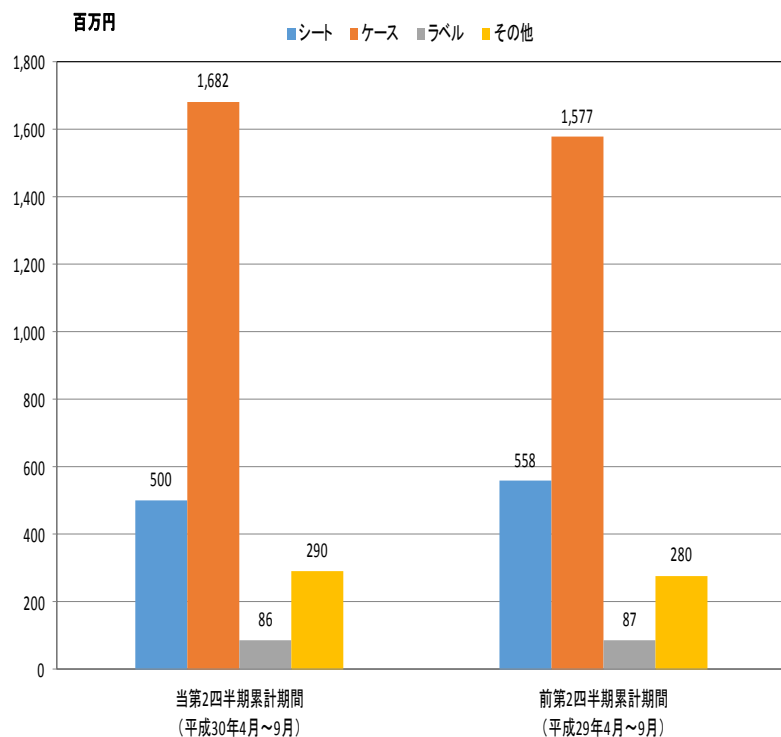
負債・純資産の部	当期末 (平成30年9月末)	前期末 (平成30年3月末)
流動負債	1,598,401	1,670,622
支払手形	1,006,457	1,027,982
買掛金	192,918	237,389
未払法人税等	53,463	40,468
その他の流動負債	345,561	364,782
固定負債	636,088	661,716
退職給付引当金	140,787	144,905
役員退職慰労引当金	416,542	411,560
その他	78,758	105,250
負債合計	2,234,489	2,332,338
純資産合計	5,195,370	5,170,196
負債・純資産合計	7,429,860	7,502,535

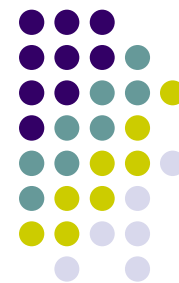


品種別売上高及び生産実績

ケース・その他は売上増となり、シート・ラベルは売上減となりました。

シート・ケース・ラベルは生産減となりました。





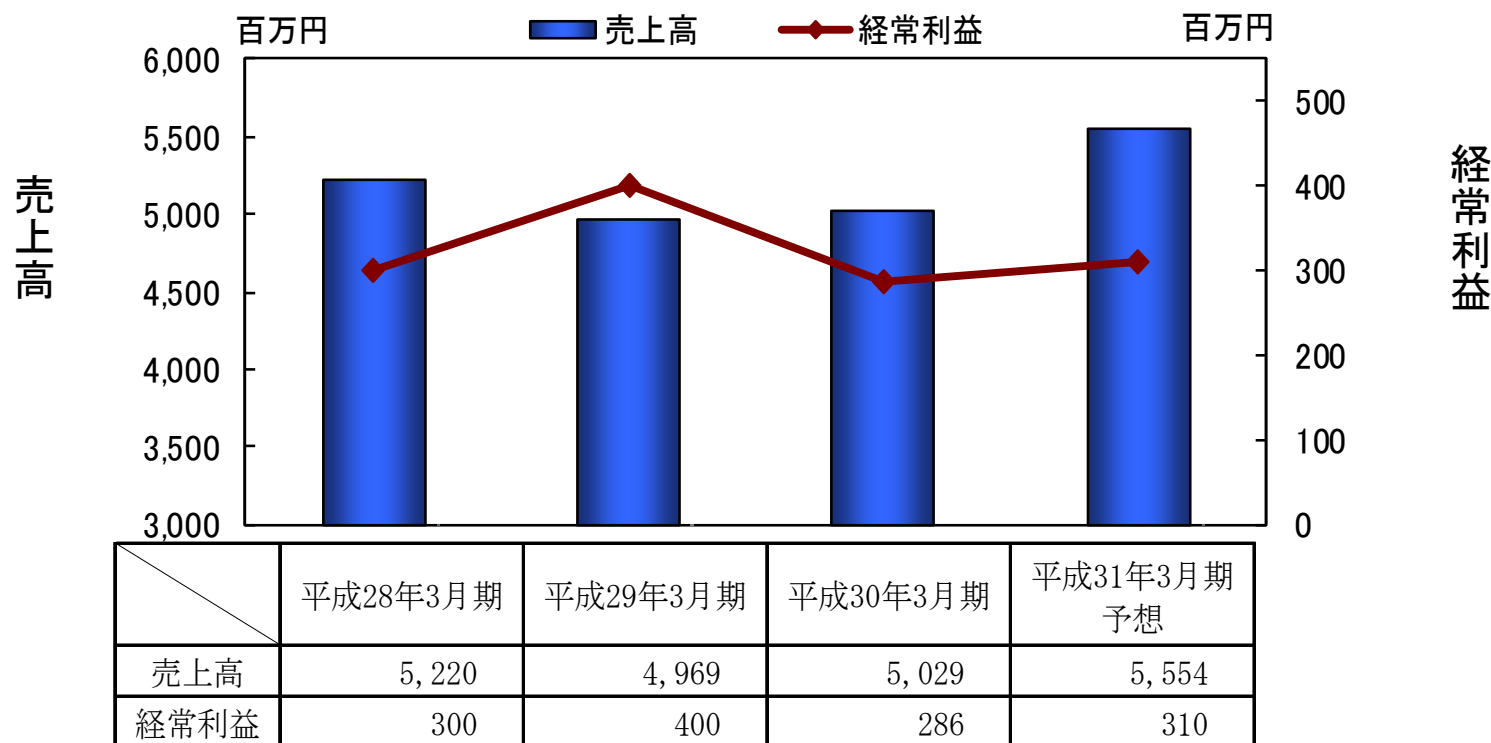
今後の見通し

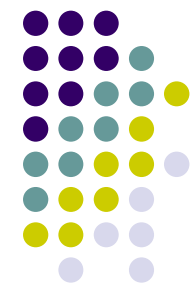
- 平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月11日に発表しました「平成30年3月期 決算短信[日本基準](非連結)」に記載された数値から変更はありません。
- 利益配分の方針は、安定的な経営基盤確立のための内部留保の充実と、安定配当の維持を基本としております。内部留保金につきましては、業績の安定に向けた財務体質の強化、生産設備の増強による生産性の向上及び販売体制充実のため有効活用する方針であります。



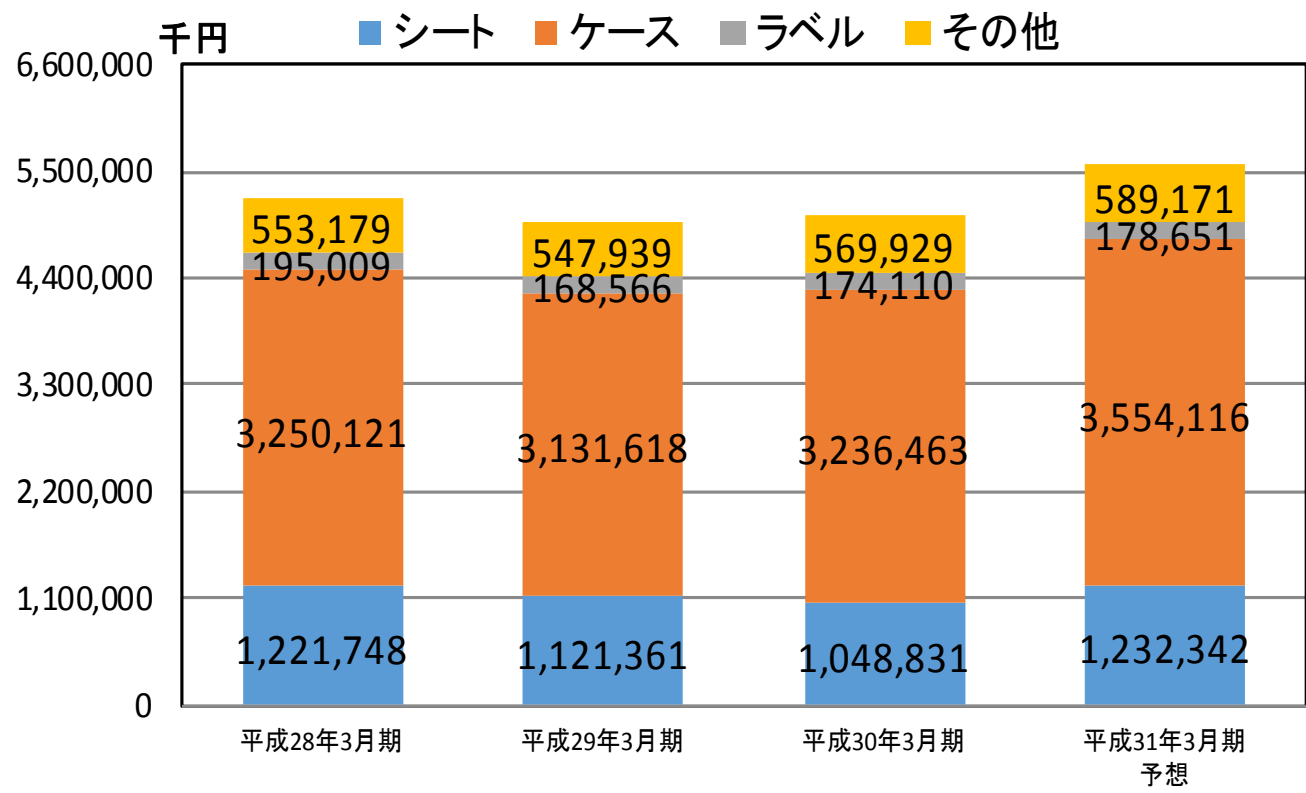
売上高および経常利益の見通し

※売上高5,554百万円(前期比10.4%増)、営業利益309百万円(同9.0%増)、経常利益310百万円(同8.4%増)及び当期純利益192百万円(同10.9%増)を計画しております。





品種別売上高の見通し





免責事項

- 当資料に記載されている情報のうち当社の計画、見通し、戦略、確信などの歴史的事実でないものは、将来の業績に関する予想値であり、現時点において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、かかる予想値とは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。
- 当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 当資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りなどによって生じた問題などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- 当資料には大村紙業の将来についての計画・戦略・業務に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、市場の需給動向、製紙業界における厳しい競争、経済のファンダメンタルズ、等々に関するリスクや不確実性を際限なく含んでいます。それゆえ、実際の業績・達成度は当社の見込みとは異なるかもしれないことを予めご承知おきください。